



おおたとしまさ

教育ジャーナリスト・心理カウンセラー

リクルート独立後、育児・教育ジャーナリストとして執筆・講演などを行う。著書は「男子校という選択」「オバタリアン教師から息子を守れ」「子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの？」など多数。

子どもを見守るために コミュニケーションツールとして 使う「手帳」の必要性

現代の子どもたちが、将来、何らかの職業に就くことにより、社会の中で自立し、自分らしい生き方を実現していくためにはどのような能力が求められているのか？教育ジャーナリストのおおたとしまささんにお話いただいた。

キャリア教育の重要性

子どもたちには、社会の中で自立し、自分らしい生き方を実現していくための力を身につけなければいけません。では子どもたちは、中高生時代にそういった職業観や経験をどのようにな身につけていったらよいのでしょうか？受験勉強だけではなくその先に待っている社会との交わりをどのように学べばよいのでしょうか？

子どもは家庭で、父親や母親の働いている姿を通して職業についてのイメージをもち始めます。また学校では職場見学、職業体験などの授業にもきちんとした時間があてられています。しかしかこういった取り組みは増えたと思えますが、それらはまだまだ点と点の取り組みでしかないように思えます。この点を繋いでいく線であったり、やがては面となる行動や経験、社会習慣と

いうものを中高生時代から養うということが重要だと考えています。

手帳という鏡

子どもたちが自立した大人に成長していくためには、いわゆる思春期にあたる中高生時代に自分自身を客観的に捉える力を身につけることが必要です。現実を事実として受け止め、自分自身を振り返る。そのためのツールとして手帳やノート、日記が利用できます。自らの目標や目的を設定し、いかにそれに挑んでいくか。悩み、努力し、鍛錬し我慢し、工夫する手助けにもなります。手帳やノート、日記は自分の鏡となり、自分自身の行動を写すものとなるのです。また、子どもと家庭、子どもと学校、子どもと部活を結ぶのにも有効です。

子どもが何を考え、何に迷っているのか、答えは出せたのか。適度な距離感を保ちながら子どもを見守るためのツールとして、手帳やノート、日記を共有することは丁度良いといえるのではないのでしょうか。

振り返り力向上

世の中の手帳には、自分のやるべきことや何のための行動かであったり、目標を設定し記入するものがある

ります。どう取り組んだか、それができたのでできなかったのかを記入できるものもあります。振り返りで気をつけたいといけないことは、「反省点だけに注目して、自信を無くし、「自分は何をやっても駄目なんだ」と落ち込んでしまうことがないようにすることです。むしろ良い点、良かったことに着目して「こういうことをやって良かった、褒められた、成功した、成績が上がった」という自己肯定感の醸成こそが大切だということを強調しておきたいと思えます。

フォーサイト

ふりかえり力向上手帳

※かがり製本にも関わらず驚きの低価格!



【学校販売 商品仕様】

- ベーシック版(中高生向け)
A5版/日付有り/全160頁
- エントリー版(中学生向け)
B5版/日付有り/全144頁

※価格についてはお問い合わせください。
電話 03-5827-7577
※ベーシック版・エントリー版いずれも
フォーサイトWEBサイトから注文申込みが可能です。
※全国書店で発売される、市販版
「フォーサイト」の仕様とは異なります。

市販版に関するお問い合わせは、
ディスカヴァー・トゥエンティワン
(03-3237-8321)までお願いいたします。

フォーサイト手帳

<http://foresight-planner.jp/>



FCE 株式会社 FCE エデュケーション